ISSN 1880-8395

東京学芸大学附属図書館報

ライぶらり

TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY LIBRARY NEWS

図書館と私

~ランチタイムコンサートをとおして~

山本訓久

私は図書館が好きです。いや「図書館の雰囲気」と言い直したほうがよいのかもしれません。広々としたエントランス、ちょっと黴臭いような古い書物の匂い、静かでピンと張り詰めたようなムード等々。良い図書館には勉強に集中できそうな独特の雰囲気があるように思います。

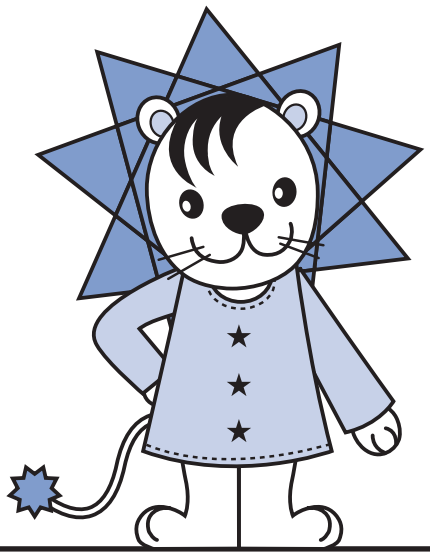
しかし残念ながら、私がこれまで本学附属図書館に足を運んだ回数は決して多いとは言えません。なぜなら私の研究領域からすると、どうしても書籍よりも楽譜（特に私の場合オーケストラのスコア）と相対することが多く、そのようにきわめて限定された書物は、より専門的な音楽関係の図書館に頼らざるをえないからです。

そんな私にも昨年来、図書館の御役に立てるような巡り合わせがやって来ました。「年間数回、水曜の昼休みに学生主体の短いコンサートを行ないたい」旨の企画を、図書館長の細江先生に申し入れたところ快諾を得て、それが実現したのです。

実を言うとこの企画は、以前から漠然と私の頭の中にあったものです。附属図書館エントランスの２階の天井まで吹き抜けの広い空間と大理石の柱、そして落ち着いた雰囲気。音楽の演奏にこれほど適しているオープンスペースは、学内には他にありません。「これを活用しない手はない」と密かにプランを暖めておりました。

ランチタイムコンサートは昨年度３回、そして今年度も既に２回とこれまで計５回開催されており、さらに年度内にあと２回行なうことになっています。実際に演奏した学生たち、そして毎回聴きに来て下さる細江館長や事務の方々も、このスペースの大変素晴らしい音響に驚いているようです。唯一の問題点は、昼休みに寸暇を惜しみ勉強しに来ている学生諸君の邪魔にならないか、ということでした。それについては職員の方々とも相談しながら、プログラミングに配慮して行なっています。

〈次頁へつづく〉



［特集］図書館と私

◆図書館と私　～ランチタイムコンサートをとおして～
（山本訓久）　1～2
◆図書館での絵本展示（佐藤晴香）　2
◆平成 19 年度附属図書館所蔵資料展・講演会
開催報告　2
◆図書館と私（友弘朱音／吉冨太基／水越絵梨子）　3
◆教員採用試験　傾向と対策も図書館で！　4
◆ Library Terms ②　in Chinese　4

Vol.36［No.4］2008.1

惜しむらくは、このコンサートの学内における認知度が、まだまだ低いという処であります。いよいよ改修相成った図書館の今後、ランチタイムコンサートが「図書館の顔」として、また図書館そのものが「本学の顔」として活動を展開できるよう祈ってやみません。

（やまもと・のりひさ
芸術・スポーツ科学系教授）

写真：コンサート風景

図書館での絵本展示

佐藤 晴香

写真：展示風景

私が所属している創作絵本サークルきつねのしっぽは、図書館で年に２回、手づくりの絵本展示を行っています。はじめて展示を行うことになった時は、スペースの確保や装飾について戸惑いもありました。

絵本を実際に手にとって読んでもらうには、展示ケースを使うわけにはいきません。そこで、階段脇の一角に机を設置して、展示会はスタートしました。そのスペースをより充実したものにするために、今も試行錯誤を重ねています。

絵本展示を通して、私は図書館の新たな利用方法を経験することが出来ました。表現をする場所としての図書館の可能性は、本という媒体に限られることなく、まだまだ広がりがあることでしょう。私たちの絵本が図書館にひと時の安らぎを提供できるように、これからも活動していきたいです。

なお、次の展示会は１月下旬頃を予定しています。みなさん是非足を運んでみてください。

（さとう・はるか　Ｌ類学習社会文化専攻３年）

平成 19 年度附属図書館所蔵資料展・講演会開催報告

図書館は、11 月１日から６日までの６日間、「絵双六でめぐる“旅”－東海道五十三駅（ごじゅうさんつぎ）－」と題して所蔵資料展を開催しました。今回は絵双六シリーズの第３回目として、江戸・明治期から広く庶民に親しまれてきた「道中双六（どうちゅうすごろく）」がテーマでした。２日には嶋中道則教授（日本語・日本文学研究講座）を講師に迎え、記念講演会「道中双六を読む－東海道の名所・名物をめぐって－」を開催しました。講演後、もう一度展示会場でゆっくり“旅”を楽しむ方、東海道中膝栗毛コーナーで黒石陽子教授（日本語・日本文学研究講座）が展示会のために執筆してくださった比較解説（当時の挿絵と双六との違い）にガッテンされる方、そして図書館が用意した翻刻版（現代文字版）を片手に実際の双六に見入る方などが多く見られました。

見逃した方は、是非図書館ホームページのアーカイブをご利用ください。
「図書館ＨＰ」→「当館について」→「活動」→「所蔵資料展・講演会」

ISSN 1880-8395

～もういっぽ～　友弘 朱音

集中して勉強したいと思ったとき、私は図書館を利用させていただいています。図書館は静かだし、閉館時間というタイムリミットがある分、短時間で集中して勉強に取り組めるので、家で勉強するときよりもはかどるためです。また、私は図書館で時間外のアルバイトもさせていただいています。そういえば、閉館の放送が流れ始めると、急に勉強を始める方が時々いらっしゃるのですが、その方も、もしかすると私と同じタイプの方なのかも知れません。

図書館のカウンターで働いていると、資料の所在が書庫や貸し出し中になっているからといって諦める方を見ることが少なくありません。そんなとき、私はそれをとてももったいなく感じます。書庫は講習会を受ければすぐに利用出来るようになりますし、予約をかけたほうが、何度も探しに来るより確実にその本を手にすることが出来るのです。「なんだ、開架に探している本がないのか」と思ったとき、もう一歩踏み込んでその図書を利用出来る方法を探してみると、もっともっと便利に図書館を利用出来るようになるので、ぜひ他の利用者の方にもそれをオススメしたく思っています。

（ともひろ・あかね　大学院学校心理専攻１年）

図書館と私

Campus life with TGU Library

～テスト、実習、暇つぶし～

吉冨 太基

今回の文章を綴るに当たって、正直とまどいを隠せません。テスト時期に２，３回、授業と授業の間の暇つぶし。私の大学生活において図書館とはなかなかに縁遠いものでした。そんな私でも人生で一度だけ図書館に毎日入り浸る日々がありました。タイトルにもありますとおり、教育実習です。私は、このときほど図書館に感謝したことはありません。教材や資料は豊富にあり、教科書や指導書などに困ることはまずありませんでした。他の実習仲間と模擬授業をやってみるために、共同学習室も大いに活用しました。お世辞でもなんでもなく、本当に助かりました。なんだか今回の文章を自分で考えながら、私がいかに都合の悪いときに図書館を利用しているかが見えてきたように思います。ピンチには図書館。きっとこれからも、テスト勉強はもちろん、教員採用試験の勉強などにも図書館を使っていくことでしょう。お世話になります。

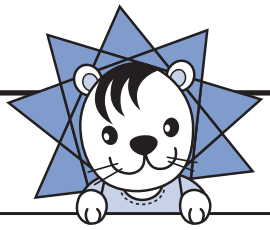
（よしとみ・だいき　Ａ類学校教育３年）

私にとっての「学芸大図書館」の存在

水越 絵梨子

図書館という場の役割は人によって様々だ。読書の場、勉強の場、趣味の情報を得る場、憩いの場。近年の図書館は、従来のただ本を貸し出すだけの場ではなくなり、総合的な情報を提供する場としての発展が目覚ましい。私にとっても、図書館は情報収集の場である。新聞、雑誌、インターネット。これらの情報源がそろっているのが学大図書館だ。私は大学では演劇を専攻している。しかし演劇関係の書籍というのは、数自体も少ないし、一般の人々が読むようなものでもないため、普通の書店や地域の図書館では手に入らないことも多い。そこで利用するのが学芸大図書館に所蔵している論文である。論文の検索にはCiNiiを利用する。演劇書は数が少なくとも、演劇の論文は検索すると意外と多くヒットするからだ。そこから得られる情報がまた貴重だ。私は学大図書館に来ると改めて大学は勉強するための場なのだ、と実感する。学芸大学附属図書館は、これからの私の学生生活にも多いに活躍するだろう。

（みずこし・えりこ　Ｇ類表現コミュニケーション３年）



教員採用試験 傾向と対策も図書館で！

附属図書館では、教員採用試験の受験対策に役立つ資料も各種揃えています。過去問題の入手から面接対策まで、幅広く活用しましょう!!

図書

- **『V 精解シリーズ』内外教育研究会編著 時事通信社（年刊）** 図書館１階開架 請求記号：374.3808/N28

各校種、科目ごとの頻出問題集。図書館では継続して全シリーズを所蔵。

HINT! 学芸大 OPAC 詳細検索で、件名欄に「教員」と入力して検索すると、教員採用試験対策に役立つ図書が探せます。

雑誌

- **『教職課程』協同出版（月刊）** 図書館2階雑誌コーナー(最新版は新着雑誌コーナーにあります)

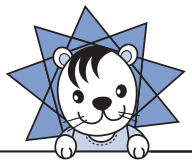
教員採用試験受験者のサポートを目的とする雑誌。各種試験の概要をはじめ、過去問題の解説、学校現場の最新の話題等を収録。予想問題集（増刊号）も刊行。図書館では増刊号を含め、継続して購読中。

インターネット

- **パスファインダー**（E-TOPIA：東京学芸大学附属図書館教育情報ポータルサイト）

https://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/index_p.html

インターネット上で配信されている、教育に関するあらゆる情報を集めたページです。採用情報や、教育行政に関する情報などを幅広く、効率的に集められます。教育関係の情報を探すときは、Google を検索する前にここにアクセスしましょう！



Library Terms ② in Chinese

■ Scene：本を借りる

「この本を借りたいのですが。」

Wǒ xiǎng jièlái zhèběn shū
我 想 借来 这本 书。
ウォー シャーン ジェ ライ ジュアベン シュー

「図書館利用証を出してください。」

Qǐng tú shū guǎn lì yòng zhèng ná chū lái
请 图书馆利用証 拿出来。
チーン ツウシューグァーンリーヨンジョン ナーチューライ

「お待たせしました。返却日は１月１５日です。」

Jiǔ děng le guī huán rì shì yī yuè shíwǔ rì
久等了。 归还日 是 １月１５日。
ジュ ドン ラ グェイホァーンリ シー イ ユエ シーウー リ

★借りた本は期限内に返しましょう！（被 借来的 书 要按时 归还 吧！）
Bèi jiè lái de shū yào àn shí guī huán ba
ベイ ジェライ ダ シュー ヤオアンシー グェイホァン バ

［編集発行］東京学芸大学附属図書館
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1　TEL 042-329-7223 / FAX 042-329-7226
● URL http://library.u-gakugei.ac.jp/　●携帯版 URL http://library.u-gakugei.ac.jp/i/

［表紙・キャラクターデザイン］美術・書道講座　正木賢一
再生紙 70%を使用しています